

筑及肥後に接す、沿岸の風折極めて多し地勢は英彦の山脈西より起り、敷派に別れて國内を走り、又三面の國界を劃し、平地少けれども大野川の流域土地稍開けたり、都會は大分、杵築、臼杵、佐伯、佐賀關、竹田等あり、産物は農産に米麥、製品に疊表豊後絨あり。

一〇一 豊後の港灣を問ふ

答、此國の東部海岸中四大灣あり中央に別府灣、北に杵築灣南に臼杵灣、佐伯灣是なり、是等の諸灣其他に在る港の主なるものを擧ぐれば高田、竹田津、富來、鶴川、安岐、守江、杵築、日山、別府、大分、鶴崎、佐賀關、佐伯、津久津とす。

一〇二 豊後の岬角を北部より順次に擧げよ

答、龜崎、地蔵崎、楠屋崎、蒲戸崎、鶴見崎。

一〇三 豊後の著名なる温泉と其附近の熄火山とを記せよ

答、國の北境に近く速見郡内に別府、濱脇、觀海寺、鐵輪、柴石、等の諸温泉あり、此中別府濱脇殊に著はる、附近に鶴見嶽、由布嶽あり孰れも噴火山にして、此附近往古より温泉多きは兩山の火山作用に由る云ふ

一〇四 肥前の地勢と都會及物産を問ふ

答、此國は九州の西北端に位し、東北部筑前筑後に接する外は悉く海に面せる一大半島にして、其半島は復數多の小半島を作り、海岸線屈折の多き事本道第一たり、附屬の島嶼亦多し、東北は山を貫ひ土地稍險惡なれども南東築紫海の沿岸筑後川の流域土地開け肥沃九州に冠たり、都會は長崎、佐賀、佐世保、伊萬里、有田、蓮池、産物は米、麥、石炭も多かれども、殊に著名なるは五島の鯨、有田焼、伊萬里焼にして、有田、伊萬里は本邦最大なる陶器製造地たり。

一〇五 長崎の所在及狀況を記せよ

答、肥前國彼杵半島の南部に在り、五港の一にして我國最舊の開港場たり、今は長崎縣廳の所在地にして、泰西の文明我國に入り來りし關門は此地なりと云うて可なり、港内水深く内外の船舶常に輻輳し貿易盛に行はる人口は現時十萬を越え、殆んど三府に次ぐ大都會なり。

一〇六 肥前の港を擧げよ

答、長崎、島原、佐世保、名古屋、唐津、是なり。

一〇七 肥後の地勢都會物産を問ふ

答、此國は九州の中部に位せる本道大國の一にして、西部一帯は海に面し、他の三方は薩摩、日向、豊後筑後に隣る、三面の國境峻嶺起伏東南殊に峻峻、西方沿海の地多くは平夷なり、都會は熊本の外に山鹿、川尻、宇土、八代、佐敷、人吉等あり、物産は各種の農産に富むと九州第一にして殊に肥後米は世に名高し、

一〇八 熊本市の所在及狀況を問ふ

答、肥後國飽託郡の中央白川と坪井川との間に挾れる處に在り、人口六萬餘口數に於ては遠く長崎に及ばずと雖、其繁華なるに至りては九州第一に位すべき大都會にして、加藤清正の築ける有名なる熊本城は今第六師團の置かるゝ所たり、西南の役谷將軍の連月固守せしは人の能く知る所、市街も大抵當時の兵燹に罹りしが爾後漸次復舊して宏壯の建物櫛比するに至れり、熊本縣廳、第五高等學校此地に在り汽車七時間にて門司に達するを得べし。

一〇九 天草島の所在を問ふ

答、肥前肥後の間に介在し(肥後に屬す)築紫海の口に横る、東を上島と云ひ西を下島

と云ふ。

一一〇 九州第一の活火山と其所在を問ふ

答、阿蘇山にして肥後の北東部に在り五峯雲際に聳立す、最高を高岳と云ひ、海面を抜くと五千二百三十尺古來著名の活火山にして、今尙硫烟を吐き、山麓に温泉多し。

一一一 日向の地勢都會産物を問ふ

答、九州の南東に位し、東方一帯日向灘に面し、他の三面は豊後、肥後、薩摩大隅に接す、地勢は概して平原少く、山岳起伏連亘して波濤の如く、殊に西の國境は九州中部山脈南北に走る、此故に人烟稀疎耕地少く産物も材木、椎茸の如き山林産物を主なるものとす、唯東方一帯の沿岸のみ稍平夷なり、都會は宮崎、都城、延岡、佐土原、細島、高鍋等なり、

一一二 九州中大河の最多き國と其川名を問ふ

答、大河の多きは日向にして川名は五箇瀬川、美々津川、一ノ瀬川、大淀川是なり。

一一三 霧島山の所在を問ふ

答、日向の南西大隅の國境に在り、其最高峯は高さ五千五百尺餘霧島火山脈の主峯にして睡眠火山に屬し、不時に鳴動して烟灰を飛ばすもあり。

一一四 大隅の地勢産物を問ふ

答、九州の南端にして、西の一部は薩摩灣、南方は外洋に接し餘は日向薩摩に接す、地勢は東北の國境及南部は山脈連亘起伏し、薩摩灣沿岸の北部稍平坦の地多し、産物は煙草、砂糖、鯉節等あり

一一五 薩摩灣内の島及其中の噴火山の名を問ふ

答、櫻島と云ひ周圍十里、島中の火山を櫻島岳と云ふ、

一一六 種子島及其附近の島岐を記せよ

答、種子島は大隅の東南數里の海上に在り周圍三十八里、天文年中葡萄牙人の始めて島銃を傳へし所なり、其西南に屋久島(周圍十六里)あり、此兩島より南方に離れて大島(周六十里)徳ノ島、鬼界島等あり、皆大隅に屬す、

一一七 薩摩の地勢都會産物を問ふ

答、大隅と並びて九州の南端に在り、西は外洋に面し、東は一半は鹿兒島灣に臨し一半は大隅薩摩に接し、北は肥後に隣る、國內山岳多く平地甚だ少し、東方鹿兒島灣に臨める地は海深く波靜にして碇泊に便なり、西岸は屈曲極めて少く従つて良港に乏し、都會は鹿兒島、川内、阿久根、谷山、出水、産物は甘藷、煙草、鯉節等にして米穀は不足を生じ日向より供給す、

一一八 鹿兒島市の所在及狀況を問ふ

答、鹿兒島市は薩摩の東北隅大隅との國境に近く鹿兒島灣に臨む背後には城山あり前には櫻島に向ふ、人口五萬三千、本島屈指の大都會にして島津市の舊城地たり、城山は西南戦争の際西郷隆盛戦死せし所なり、

一一九 薩摩の島嶼を問ふ

答、肥後の國界に近き海上天草島の南に長島あり之より西南に離れて上、中、下の瓶島あり、國の南端を離るゝ十里の海上に硫黄島、黒島、竹島あり。

一一〇 壹岐の形勢を問ふ

答、九州の西北に在る孤島にして、肥前唐津を距る七里餘の海上に在り、我國最小の州にして面積僅に八万里に過ぎず、海岸は屈曲多く良泊少からず、内地は山岳起伏して低地少なけれど地味は肥沃にして穀類の産出比較的に多しと云ふ、小都會勝本あり。

一一一 對馬の地勢を問ふ

答、位置は壹岐の北西十二里に當りて朝鮮海峡に横はり、上島下島の二島より成る、面積四十四方里、古來朝鮮と交通の要路に當るを以て津島と稱したりと内地は丘陵多く平地至つて稀なり、都會は下島に嚴原あり、宗氏の舊城地にして今は長崎縣の島司廳あり、産物は馬を主とし、其他海産物は夥し。

一一二 琉球の位置形勢を問ふ

答、琉球は薩摩の輿論島より南西に連點せる大小五十五の群島より成り分ちて沖繩群島、石垣群島、宮古群島と存す、面積合計百五十七方里、地勢は一般に丘陵多く平地稀なり、地味は肥瘠相半するも灌漑の便を欠ぐを以て耕種に適せず、氣候は終歲溫暖にして寒を知らず。

一一三 琉球諸島中主なる島名を擧げよ

答、沖繩島最大にして、宮古島石垣島入表島之に次ぎ、其他伊是那、久米慶良間、永良部、波照間、與那國等を主なるものとす。

一一四 沖繩島の地勢都會産物を記せよ

答、沖繩群島の中、沖繩島最大にして東北より西南に延くも凡四十里、幅は一里乃至八里あり、全島を三區に分劃し、北を國頭、中を中頭、南を島尻といふ、右の中、中頭、島尻の二區は山岳少く平地多きも國頭は山脈南北に連れり、都會は島尻の西南に那覇あり、其東一里許に首里あり、那覇は琉球第一の都會にして人口三萬五千餘、沖繩縣廳、師範學校、中學校あり、東京より五百七十餘里百里には第六師團の分營あり、産物は甘蔗、甘蔗、砂糖、泡盛、飛白綿等を主なるものとす。

一一五 宮古島の位置地勢産物を擧げよ

答、沖繩島那覇港の西南六十六里の所に在り、島形三稜形をなし、近海暗礁多し内地は肥沃の原野多く、島民は耕種の紡績を業とし、名産は甘蔗に飛白なり。

一一二六 石垣島の地勢物産を記せよ

答、石垣島は宮古島の西凡二十六里に在り、其西凡六里に在る入表島と共に石垣群島中の最大島とす、(石垣島以西の島嶼を一に八重山群島とも稱す)、兩島共四面多くは断崖にして碇泊に便ならず、石垣は北部山岳多けれど西南部は原野開け入表は内地山岳縦横に連亘す、産物は、甘藷、甘蔗、砂糖、藍、琉球絨、其他沿海魚介の利多し。

一一二七 沖繩島の風俗を問ふ

答、概して温厚和順言語文字は畧内地の制に倣ふ、颶風ある爲め家屋の構造低し、家の周圍は石垣を繞らせ内部の構造畧内地の農家に等し、衣服は綿布麻布、芭蕉布、上布の類を用ひ、男子は潤袖の單衣にして長々甚だ短し、但し上流は等身の服を着くるを常とす、女子は長き上衣を着け左衽右衽相交れり、食物は主に甘藷にして蘇鐵の實豚肉等をも食し、最も火酒を好む、男女共束髪にして男子は兩管女子は一管を用ふ、上流は履を穿てども一般下流の民は跣足なり。

一一二八 琉球の民業を問ふ

答、民業は農を以て主と爲す、之に亞ぐは商にして紡織其他の工業を營むもの亦少から

ず、商業は多く女子の所掌にして、男子は概れ逸食し、女子は専ら勞力に従事す、牛馬牧養の盛なるは諸島相伯仲す。

九 北 海 道

一一二九 北海道の住民を問ふ

答、本道の主要なる地は本州人移住し開拓耕耘等萬事を經營しつゝあれど、舊「アイヌ」と名くる土着の人種あり、未開にして言語風俗我國と異に、男女皆被髮跣足のもの多く、夏日は「アツシ」と稱する、榆樹の亞皮を以て織りたる上衣を被り、左衽にして女子は一般に文身し男子は外出の際小刀を帶ぶる風あり、此人種は往昔蝦夷の大部に住せしが、現今は大和民族の移住に迫られ其口數二萬に足らず。

一一三〇 北海道の外國貿易は如何

答、本道の外國貿易は函館港に依りて行はれ、神戸、横濱、長崎等に比すれば微々たりと雖、逐日盛運に向ふと云ふ、輸出物は重に海産物にして輸入物は米、茶及製造品を主なるものとす。

一三二 渡島の地勢都會を問ふ

答、北海道の西南端に位し、北の一部本島に連る外悉く海に面せる一大半島にして南は海峽を隔て、本州の陸奥と對す、地形畧三角形を爲し、内地は中部は山岳諸所に起伏すれども沿海の地平坦なり、河流は東西南三方に向て注ぐ長大のものなし、都會は本道第一の繁華の地たる函館の外福山江輪あり。

一三三 函館の所在及狀況を問ふ

答、函館は渡島國の南部に在りて渡島灣の北岸に臨む、人口八萬弱本道第一の都會にして、我國五港の一なり、港内廣濶水深きを以て船舶の碇泊に適し、北海道の貨物は皆此地に集る、此港は徳川氏の世未だ隆盛に越かざりしも明治維新後頗ぶる繁華の區となり、陸奥の青森を距る二十餘里、

一三四 五稜郭の所在を問ふ

答、五稜廓は函館の北一里に在りて幕府の經營に係る砲臺あり、形ち五稜を爲す、維新の際榎本武揚、大島圭介の劇戦せし所にして史上に名あり、

一三五 後志の地勢と都會を問ふ

答、後志は渡島の北に連りて日本海に面す、地形狹長南より東北に延く、南部は膽振に隣り、其國境一帶の山脈にして、沿海には平地多し、海岸線は屈曲多し、中部より稍北に當りて後志川膽振より來りて此國を貫流す、東北海中に斗出する尖端を積丹岬と云ふ、都會には小樽、壽都あり物産は銀、銅、砂糖、鮭、昆布等なり。

一三六 北海道に於る函館に次ぐ要港と其所在を問ふ

答、後志の小樽港にして、後志國の北海岸小樽灣内に在り、人口五萬六千、此港の函館に於けるは横濱の東京に於けるが如き關係にて、近時非常に繁盛に赴けり。

一三七 石狩の地勢、都會、物産を擧げよ

答、石狩は本島中央部の西に逼せる大國にして西は石狩海(日本海)に面し他の三面は渡島根室を除くの外本島中の各國と境す、而して是等の國境は何れも高峻なる山脈を以て限られ、内地も國の東南部即本島の中央部に當る所山岳の起伏頗る多し、石狩川は是等諸山の水を集めて東南に流れ其流域は國の西部に於て一大平野を爲す、所謂石狩平野是なり、都會は札幌あり、産物は鱒、鮭、鯡、鮭、昆布等の海産物をまことす。

一三七 札幌の所在及状況を問ふ

答、札幌は石狩國の西南部に在りて後志との境に近し、本道第三の都會にして人口四萬弱、道廳、農學校、炭礦鐵道會社其他の諸會社あり、後來益繁華に向ふべき有望の地なり

一三八 石狩川の流域を問ふ

答、本道第一の巨流にして又本邦第一の長流たる石狩川は本島の中央石狩十勝の境なる石狩岳十勝岳の間より發し、北に流れて兩大瀑布となり、それより深谷の間を廻りて西の方平野の中央に出で、茲にて數多の川流を集め下流漸次水勢大に、雨龍川、空知川を加へて更に大きなり、廣漠なる石狩平野の間を南西に流れ石狩港より日本海に入る、流程百十餘里河口は幅四百間鮭獵盛なり。

一三九 天鹽の地勢、都會、産物を問ふ

答、本島の北西に位し西方一帯天鹽海(日本海)に面し、京北は北見、南は石狩に接し、兩國との境は總て山脈を以て限らる、海岸線の屈曲は極めて少し、内地の河流は多くは西北に向ふ、其最大なるは天鹽川なり、地勢は天鹽川の流域及西部沿海の地平坦なり、

都會には天鹽、増毛あり、産物は鍊を主とし、其他の海産物少からず、

一四〇 北見の地勢、都會、産物を問ふ

答、此國は本島の東北面に於て地形狹長北より東南に延き、東北一帯オコク海に瀕し、北端は宗谷崎、東端は知床岬にして兩岸遙に相對して一大灣を形成す、南部及東方の一部は天鹽、石狩、釧路、根室に接し、其國境は一帶の山脈を以て限らる、河流は長大ならず皆北に向へり、地勢沿海は一般に平衍にして、海岸線は屈曲少く唯中部に周圍四十五里の猿岡湖あり、都會は、宗谷、枝幸、紋別、常呂、此中枝幸は砂金の採掘を以て著名なり、産物は鮭、鱈等を最とす、

一四一 膽振の地勢、都會、物産を問ふ

答、膽振の位置は本島の西南部渡島半島の根部より東に延き、北は後志、石狩、東は日高に接し南方一帯海に瀕し、中央に室蘭岬斗出し、其中に噴火灣(又火山灣)を包む、地勢は東北部の國境山岳連り、内地も丘陵の起伏少かられど、東北部稍平原あり、河流は概して南流すれど千歳川のみ北流して石狩に入る、都會は室蘭千歳にして前者は軍港を以て名あり、産物は海産を主とす、

一四二 日高の地勢を記せよ

答、日高は本島南部に位し東北は十勝、西は膽振に堺し、南方一帯は日高海(太平洋)に臨む、國境は悉く峻嶒の山脈連亘し地勢海岸に向うて漸次低下し沿海平地少からず、海岸線は極めて屈曲に乏しく港灣なし、南端の岬角を襟裳崎とす、此國の住民は主に「アイヌ」人なり、産物は海産を主とす、

一四三 十勝の地勢、都會、物産を問ふ

答、日高の東に位し東北西は釧路、石狩、膽振に接し東南一帯は十勝海(太平洋)に面す、國境は皆山脈を以て限られ、殊に西北は最峻嶒なり、海岸の屈曲なきと日高に同じ、内地は大津川の流域平野を爲す、都會は十勝、大津あり、産物は海産を主とし、牧畜業盛に行はる、

一四四 釧路の地勢と都會を問ふ

答、本島の東部に位し東西南三面は山脈を以て根室、北見、石狩、十勝の境を劃し、内地も山岳の起伏あれど、南方釧路川流域の地平野を爲す、南面一帯の海岸東部は稍屈曲に富み、厚岸、濱中等の良港を形成す、國の東北境に二湖あり、東を釧路湖、西を阿寒

湖といふ、都會は釧路、厚岸、濱中、桧町、等あり、

一四五 根室の地勢、都會を記せよ

答、此國は本島の東北端に位せる小國にして北西南三方は山脈を以て北見、釧路と境し、東方は一帯海に面し、其北部は根室海峡を隔て、千島の國後島と相對せり、内地は中部標津川の流域の地平野を爲す、海岸は南方屈曲多く、納紗岬南端より東に斗出して根室の灣を抱く、都會には根室あり、

一四六 北海道東部の要港及其所在を問ふ

答、根室國の根室港にして國の南部根室灣口に在りて辨天島其前に横はり、千島諸島に要津にして市街の繁華本島本部に冠たり、

一四七 千島列島の所在及形勢を問ふ

答、根室の東北に當りて根室海峡を距てたる國後島を起點とし、東北に向て三百餘里の間に羅列せる大小三十二列島より成立し、其東端は占守島にしてクリル海峡を隔て、魯領堪察加に對す、諸島の總面積六百十三方里畧四國と全じ、近海は霧深く罩め風波荒く且諸島の海岸多くは斷崖にして港に乏し

一四二 日高の地勢を記せよ

答、日高は本島南部に位し東北は十勝、西は膽振に堺し、南方一帯は日高海(太平洋)に臨む、國境は悉く峻嶒の山脈連亘し地勢海岸に向うて漸次低下し沿海平地少からず、海岸線は極めて屈曲に乏しく港灣なし、南端の岬角を襍嶮崎とす、此國の住民は主に「アイヌ」人なり、産物は海産を主とす、

一四三 十勝の地勢、都會、物産を問ふ

答、日高の東に位し東北西は釧路、石狩、膽振に接し東南一帯は十勝海(太平洋)に面す、國境は皆山脈を以て限られ、殊に西北は最峻嶒なり、海岸の屈曲なきと日高に同じ、内地は大津川の流域平野を爲す、都會は十勝、大津あり、産物は海産を主とし、牧畜業盛に行はる、

一四四 釧路の地勢と都會を問ふ

答、本島の東部に位し東西南三面は山脈を以て根室、北見、石狩、十勝の境を劃し、内地も山岳の起伏あれど、南方釧路川流域の地平野を爲す、南面一帯の海岸東部は稍屈曲に富み、厚岸、濱中等の良港を形成す、國の東北境に二湖あり、東を釧路湖、西を阿寒

湖といふ、都會は釧路、厚岸、濱中、樺町、等あり、

一四五 根室の地勢、都會を記せよ

答、此國は本島の東北端に位せる小國にして北西南三方は山脈を以て北見、釧路と境し、東方は一帯海に面し、其北部は根室海峡を隔て、千島の國後島と相對せり、内地は中部標津川の流域の地平野を爲す、海岸は南方屈曲多く、納紗布岬南端より東に斗出して根室の灣を抱く、都會には根室あり、

一四六 北海道東北部の要港及其所在を問ふ

答、根室國の根室港にして國の南部根室灣口に在りて辨天島其前に横はり、千島諸島に要津にして市街の繁華本島本部に冠たり、

一四七 千島列島の所在及形勢を問ふ

答、根室の東北に當りて根室海峡を距てたる國後島を起點とし、東北に向て三百餘里の間に羅列せる大小三十二列島より成立し、其東端は占守島にしてクリル海峡を隔て、魯領堪察加に對す、諸島の總面積六百十三方里畧四國と全じ、近海は霧深く罩め風波荒く且諸島の海岸多くは断崖にして港に乏し

一四八 千島列島中の主なる島名七八を挙げよ

答、主なるものを南より順次に列挙すれば國後、擇捉、得撫、新知、捨千古丹、恩福古丹、幌筵、占守、是なり、(以上各島の周囲は二十二里以上百五十三里) 島形は孰れも狭長にして西南より東北に延ぶ

一四九 國後島の所在地勢を問ふ

答、千島列島の西南端に位し、根室を距る九里、周囲七十一里、内外は土質概して礫礫耕作に通せず、西南端に泊灣あり住民は内地人及「アイヌ」土人にして民業は主に漁獵なり、

一五〇 色舟島の位置形勢を問ふ

答、國後島の東南に當り根室港を距る約六十里の海上に在り、千島列島の一にして、面積は小なれども良港多く、土地肥沃にして將來有望の殖民地たり、

一五一 千島列島中最大のもの及其所在を問ふ

答、擇捉島にして列島の西南端より第三に位し、タンチモイ海峡を隔て、國後島に對す、

長さ約六十里、周囲百五十三里、北部は海岸屈曲に富み、二個の大灣を爲す、南端に良港あり、内地は礫礫耕作に適せず、

一五二 得撫島の位置形勢を問ふ

答、列島西南より第四に位し、周囲六十里強、西南はエトロフ海峡を隔て、擇捉島と相對す、此島は地味豊饒にして樹木あり、海獺、海馬、鱈等を産す、

一五三 千島列島中部の島を問ふ

答、新知島にして長さ二十七里廣さ五里周囲三十三里餘、東北にプロウトン港あり、島の西南の海峡の名をホッスールと云ひ此海峡に依りて千島は兩部に區分せらる、

一五四 千島列島東北端の三大島を記せよ

答、南より順次に挙げれば恩福古丹、幌筵、占守の三島にして、周囲は恩福古丹二十六里餘、幌筵は八十里、占守は二十三里弱、

一五五 占守島の形勢を問ふ

答、東北は久留米海峡を隔て、勘察加のロバトカ岬と相對し、南方は小千島海峡を隔て

、擇捉島に對す、地勢は殘餘の列島に比して土地平夷なり、島内の住民は純粹の千島にして、風土習慣アイノに類し皆穴居せけ。

一五六 本邦領土最北の地を問ふ

答、千島列島中のアライト島にして、幌筵島より西北に當れり、四邊斷崖にして島内は樹木希に殆んど人類の棲息し難き所なりと云ふ、

一五七 北海道五大河の稱ある河流を擧げよ

答、石狩の石狩川、天鹽の天鹽川、十勝の大津川、釧路の久壽里川(又釧路川とも)後志の後志川是ふり。

一五八 北海道の交通を問ふ

答、道路は皆海岸を繞つて諸方に通ず、青森より津輕海峡を渡りて函館に到り函館より森港を経噴火灣を渡りて室蘭に至り終に北進して札幌に通ずるものを札幌街道と稱し、又歌別、襟裳、岬、猿留、大津等を経て根室に至る根室街道あり、鐵道は小樽港の北手宮を起點とし札幌を過ぎて幌内に入り又室蘭港に起るものは東海岸に沿うて苫小牧、千歳を過ぎ岩見澤にて札幌線に通ず、此他猶二三の鐵道線あり、海路は函館を中心とし、南

は本土諸港に到り東方室蘭、原岸、根室に至り、千島線に運り、西は福山、江差、小樽に至るの間常に定期航海あり。

十 臺灣

一五九 臺灣島の沿革を問ふ

答、臺灣は支那海上の一大島にして、我國人の曾て高砂と及びし所なり、而して洋人はフアルモサと呼べり、初めて臺灣と名けしは我紀元二千三百四十二年(支那の康熙二十二年)本島の清朝に屬せし時に在り、上古は只未開人種の此地に棲みしこの事の外邇として知るべからず、初めて支那に知られしは明の宣德帝の時大鹽王三保東印度に航せんとし風波の爲めに茲に碇泊せし時なり、我國よりは足利氏の末浮浪の徒が黨を組んで此地に赴き之を根據地として支那を剽掠したることあり、十六世紀の頃和蘭人、此地を占領し又西班牙人來り互ひに相抗争せしも終に蘭人勝を占め此地を統治せしが三十八年にして支那人の爲めに權力を奪はれたり、清朝の始め明の遺臣鄭成功臺灣を根據地として明朝恢復せんを圖り先づ蘭人を瓜哇に追ひ本島に君臨せしが幾程もなく死し其子經文遺志を繼ぎしも事敗れて本島終に清の版圖に歸す、爾后二百餘年を経れども東岸及山中の蕃族は毫も清朝の羈絆を受けず、漂流せる外人を殺すに至る、明治七年我國問罪の師を發せ

しとあり、全二十七年支那と戦端を開くや、我軍本島を占領し、翌年四月十七日馬關條約に本島及諸島は我版圖に歸し爾來我國總督府を臺地に置きて改革に従事しつゝあり

一六〇 臺灣の地味を問ふ

答、一概すれば先づ背腹にして耕殖に適す、就中西部の地方は諸川流の灌溉其肥沃を補ひ、又氣候の炎暑は降雨のために調和を得耕作の利少からず。

一六一 臺灣の人種を問ふ

答、本島の住民は近來移住せし内地人を除きて、土人及支那人の二種に大別す、支那人は福建、廣東兩省の移住民なり此中にも頑固にして文化を知らざるものあり土人は馬來人種にして又之を生蕃熟蕃の二部に別つ、生蕃は東部深山幽谷の間に住み其數凡二十萬性質暴戾にして殺戮を好み、首級を得るを名譽とし殊に支那人を憎む平常狩獵を業とし、熟蕃は高原及平野に住し、支那人に接して大に其文化を探り風俗習慣殆んど支那化せられて性質溫良最も耕作に努め却つて支那人に優る所ある程なり、

一六二 臺灣の風俗を問ふ

答、其風俗は人種に依りて異あり、支那人は大抵其本國に於けるものと異なるなし、蕃

族も其習慣大同小異なれど生蕃の殘忍暴戾に比して熟蕃は大に異れり、蕃族は概ね一幅の布を身に纏ひ、文身を爲す習癖あり、食物は米菓物野菜等にして家屋は市街に在りては煉瓦石を用ひ屋根は瓦葺にし、村落は竹造茅屋多し、生蕃の或種に至りては殆んど家屋を稱すべきものなきものすらあり。

一六三 臺灣の動植物を記せ

答、動物は概して南東亞細亞諸島のものと全種なり、野獸は鹿を主とし、豹、猿、熊、兎、臭猫等あり、家畜には水牛、騾馬、豚、犬を主なるものとし、鳥は鶯、鷹、鶴、雉、ツグミ等多く、食用には雞鴨の類専ら用ひらる、水産には牡蠣、鮑、魚に多し、植物は北部に中央亞細亞、及日本地方と同種のもの有し、南部には熱帯のものを見る、茶、砂糖、米は農産の主なるものとし、殊に茶は年七回其葉を摘むと云ふ米も二回の收穫あり、樹林には檳榔子、棗、棕櫚、撓榔、楓は全島に遍く、其他柳、檉、赤楊、松、桃、桑、椰子、麒麟血樹、樟樹、波羅密、梅、石榴、楠、榕樹、烏木等あり、竹には薊竹、長枝竹、鳳尾竹等其他數種あり、花卉類は内地のもの悉く備はれり、要するに本島は熱帶植物溫帶植物を加へ、四時綠色絶ゆることなく草木到所に密生せり、

一六四 臺灣の鑛物を問ふ

答、本島鑛産地の主部は今日猶生蕃の境に屬し未だ探検を経されども、已知の山脈中殆んど一として石炭脈を有せざるはなく、北部基隆、蘇澳、新竹、苗栗、及南部恒春の近傍に最多く、基隆近傍の炭坑より採掘するものは質佳良ならざるも量極めて多く價低廉なり、又全島火山多きにより硫黄の産出夥し。

一六五 臺灣北部の地勢及都會を問ふ

答、北部地方は概して山岳の起伏多し、されど其内部を流るる淡水河ありて數多の支流を南北に出し、其流域稍廣潤の平原を爲す、都會は臺北府、艋舺、大稻埕、淡水港、基隆港、宜蘭、蘇澳、新竹、大姑隘等とす。

一六六 臺北府の位置及狀況を問ふ

答、臺北府は山を以て圍まれ、淡水河の流水に沿ひ西京と稍似たる所あり、南方沃野開け大屯、觀音の諸山を北西に望む、臺灣最大の都府にして人口二十萬餘臺灣總督府の在る所にして内地人多く住し、臺灣鐵道は此地を根基として東西に走り、市街繁盛を極む府城は劉銘傳の築く所に係り市街は支那風なり。

一六七 臺灣第一の良港と其所在を問ふ

答、基隆港にして、臺北府の東北凡九里淡水港より海路十二里の處に在りて北は海に面し自餘三面は山嶽回繞す、港内廣からざるも水深く大艦を入るゝに足る、石炭は此港より輸出す人口一萬許。

一六八 臺灣北部の交通を問ふ

答、北部は重要な地なるを以て、山嶽の多きにも拘はらず交通の便甚だ開けたり、鐵道(劉銘傳の起す所に係る)は臺北より西南は竹新を経て香山港に通じ北東は基隆に達す、又稻埕より淡水港間は小蒸氣往來す、其他人力車、水牛車等ありて往來を便し、郵便電信も他方よりは大に開けたり。

一六九 臺灣西部の地勢及都會を問ふ

答、大甲溪以南臺南に至る一帯の地にして、東はモリソン山脈に依つて生蕃の境に接し、雲林より浦里地方は山岳相接し、彰化嘉義一帯の地は平原沃野にして田圃開けたり、都會は臺灣西部第一の繁華の地なる彰を始め嘉義、鹿港、築港あり。

一七〇 臺灣西部の交通を問ふ

答、山地は全く道路なるものなれど海岸は稍通せり、此地は大河なく、河には橋梁を架せざれども平時は常に乾涸せるを以て河道を徒歩するを得べきも雨季に際しては交通全く絶ゆ、沿岸は遠淺にして大船往來する能はず。

一七一 臺灣南部の地勢及都會を問ふ

答、臺南以南分岬の間を云ひ東北山嶽多く、淡水河の流域は稍沃野あれど臺南分岬に至るの間は海濱に丘陵多し、都會は臺南、安平、打狗、鳳山等あり。

一七二 臺灣南部第一の都會と其状況を記せよ

答、臺南府にして曾て鄭氏の茲に都を定めしより永く中央政府の所在地として臺灣全島第一の都會なりしも、我總督府の臺北に置かるゝに及んで第二位に下れり、長方形の市街にして周圍二里許人口十五萬餘、南部商業の中心たり。

一七三 臺灣南部の交通を問ふ

答、此地方は全島中最早く開けたる所なるを以て、道路も他部よりは比較的發達せり、

臺灣鐵道は香山より臺南に布設中なり。

一七四 臺灣東部の地勢を問ふ

答、此地方は今日猶生蕃の棲居する所なるを以て地理明らかならず、されど山嶽重疊して、内に大河なく又良港、都會、道路等なきものみは既に知られたり。

一七五 基隆港より長崎上海等への里程を問ふ

答、長崎へ 六百三十浬 琉球八重山群島へ 百二十餘浬
上海へ 三百七十六浬 福州へ 百五十浬

一七六 安米港より長崎、上海、香港への里程を問ふ

答、長崎へ 八百七十浬 香港へ 三百浬 上海へ 六百五十浬

一七七 澎湖諸島の位置形勢を記せよ

答、臺灣本島と支那大陸との間に在り、五十五の島嶼より成り、マスカドール諸島とも云ひ、清國廈門を距る五十里許、本島との間を澎湖水道と稱す、澎湖、漁翁、白沙の三大島並び内に澎湖港を抱く、北にあるは大烈島、南には船達島、倉島、八罩島、綏

船島等あり、諸島中最大なるは澎湖本島にして地質は珊瑚岩石より成り、周圍二十餘里、海岸屈曲に富み、島内に深入せる馬公灣あり、都會は宮城、澎湖あり、此諸島は本邦、支那、朝鮮に達する咽喉の地なり。住民は支那人にして六萬許あり、

一七八 澎湖諸島の首府と良港とを問ふ

答、首府は宮城にして澎湖本島馬公灣の北口に在り、人家七八百砲堡の設けあり、澎湖港は澎湖漁翁兩島に抱かれ、水深く巨船を容る臺灣海峡樞要の位置に在るを以て殊に必要なり、

一七九 紅頭嶼の所在及形勢を問ふ

線、臺灣本島南岬を東に距る二十里許に在りて周圍十里弱、生蕃に似たる土人あれど稍温良なり、漁獵牧畜を業とす、椰子樹は多く繁茂す、人口一千許、

一八〇 火燒島龜嶼の所在と地勢を問ふ

答、火燒島は江頭嶼の北十七里に在り周圍三里石炭岩より成る、米穀菜蔬を産す島民は支那人と馬來人の雜種なり、龜嶼は洋人ステイブ島と呼ばび、三角貂の南五里に在り、島民は支那人にして田野を作る、

参 考

明治三十三年度及三十四年度諸官立學校

入學試験日本地理問題集

地理の問題は必らずしも日本と萬國とを區別せざるが故に、時として一問題にして双方に跨れるものあり、又専ら外國の地理に關せるものにも大に參考となるべきを以て茲には國の内外を別たす、汎へて地理科の問題に屬するものは悉く之を載録し、其中日本地理及び双方に通じたる自然地理(地文)に關するものは、注意の爲め圖の一に▲印を付するこゝとせり。

○第二高等學校入學試験(三十三年度)

一、左の所在を白圖に記入せる

福州、太浩、セントヘレナ、ヴァンクワヰ、メルボルン、ピレニース山脈、パミール高原、ヴォルガ河、オレンツ河、ペーリング海峡、

- ▲二、本邦師團及び鎮守府の所在を詳記せよ
- ▲三、本邦海軍の歐、米航路及其各寄港地の名を白圖に記入せよ
- 四、朝鮮の政体を畧述せよ
- ▲五、四季の變化を説明せよ
- ▲六、層狀火山の構造を問ふ

○第三高等學校

(三十三年七月分)

- ▲一、日本海軍管轄區及鎮守府の所在地を問ふ
- 二、亞細亞に於ける英佛露の領地を問ふ
- ▲三、北海道に於ける主要なる生物を問ふ
- 四、支那本部の人種及言語宗教如何
- ▲五、日本郵船會社海船の浦鹽斯德、大阪商船會社海船の沖繩に航する航路如何

○高等商業學校

(三十三年七月)

- ▲一、臺灣の地勢と氣候との關係を問ふ
- 二、露西亞帝國の行政、人種及宗教を問ふ
- 三、亞弗利加と濠太利亞と相似たる點及異りたる點を學ぶべし

- 四、南米諸國の産業を問ふ
- 五、北米合衆國の隆盛なる原因を問ふ

○同上 (三十四年七月分)

- ▲一、北海道、琉球、臺灣、等住民の性質、衣食住の有様は如何に異なるか
- ▲二、各地氣候の異なるは如何なる原因に依るか
- 三、亞弗利加は如何なる國に分割せらるるか
- 四、Carolina, Malta, Madagascar, Cuba. 等の諸島に就て知れる所を述べよ

○商船學校 (三十三年六月)

- ▲一、日本國沿岸の要港を列記せよ
- ▲二、外國に輸出する重なる物品及産出地を問ふ
- ▲三、九州の海岸線の概況を述べよ

同上 (三十四年四月)

- ▲一、本邦四大島を分つ海峡及び瀬戸を問ふ
- ▲二、山陰、山陽二道の主なる産物を問ふ

▲三、東海道及奥羽の良港を列記すべし。

○高等師範學校 (三十三年)

▲一、一般に高山の頂上は平地より寒冷なる理由を説明せよ

▲二、石灰洞は如何にして成生せしものなるや

▲三、本邦の地形と産業との關係を問ふ

▲四、本邦漁船の海外定期航路及び其經過港を問ふ

▲五、英國に於ける工業の状況及び其中心地を問ふ

○同上 (三十四年度)

▲一、我東京の正午は英國グリニッチの何時に當るや

▲二、風化作用、浸蝕作用とは何ぞや之を説明せよ

▲三、我國諸山脉の系統を記せ

▲四、亞細亞に於ける歐羅巴各國の勢力を示せ

▲五、南亞米利加洲の地勢を現はすべき畧圖を作れ

○東京外國語學校

一、後印度の畧圖を示し著名の河流及都邑を名けよ

二、次の産物は世界の何れの國より産出するか、
珈琲、茶、米、木綿、鐵、石炭

三、瑞西國四隣の國々を名けよ

四、次の都邑の所在國名を問ふ
a. Hage. b. Hakao. c. Triest. d. Smirna. e. Kiel.

○同上 (三十四年度)

▲一、本邦製茶の列國貿易に於ける状況を記せ

▲二、山陽鐵道の起終點、並に之に沿へる著名の市邑を圖示せよ

▲三、左記の場所に就て知れる所を記せ
(イ)拉資(ロ)西安(ハ)Bombay(ニ)Genoa(ホ)Chicago

▲四、貿易風とは如何なるものか明瞭に説明せよ

○海軍機關學校 (三十二年)

▲一、左の諸國に屬する著名なる港灣各一つを擧げよ

- 渡島 後志 釧路 陸前 羽後 越中
- 二、支那本部を形成する各省を列記すべし
- 三、トランスヴァール(Transvaal)共和国は何處に在りてその首府は何と云ふや
且最有名なる産物及其生産地を問ふ
- 四、左記首府の所在地を問ふ
Copenhagen. Athens. Vienna. Belgrade. Brussels. Hague.

- ▲五、回歸線、赤道、緯線、經線を説明せよ
- ▲六、毎年六月より本邦に梅雨ある原因を問ふ
- ▲七、高山の上は氣候寒冷なるは何故なるや
- ▲八、陸地に漸次其形狀を變じて間斷なし其作用は何に由るや

○同上 (三十三年度)

- ▲一、本邦内公私造船所の所在地を問ふ
- ▲二、日本より英國に航行する船舶の通過すべき海峡及運河の名稱を記せ
- 三、朝鮮沿岸の畧圖を畫き仁川港、釜山浦、元山津を記せ
- ▲四、子午線、地極、赤道及緯度を解説せよ
- ▲五、春夏秋冬の變化は地球の運動に依て生ずる理を説明せよ

- ▲六、貿易風の起る原因を問ふ
- ▲七、海岸の狀態に依り簡單に海の深淺を知る法如何

○同上 (三十四年度)

- ▲一、海軍鎮守府の所在を問ふ
- ▲二、日本全國の畧圖を畫き本州と諸島との間に在る諸海峡を記せ
- 三、地中海に瀕する各國々名を記せ
- 四、英、佛、獨、露、澳太利、以太利、葡萄牙、及び西班牙の首府を問ふ
- ▲五、海陸軟風の起る原因如何
- ▲六、晝夜長短の差を生ずる理如何圖に依りて説明せよ
- ▲七、海水運動の原因を問ふ
- ▲八、地震の原因如何

○海軍兵學校 (三十三年度)

- ▲一、左の市港岬山川を別紙圖中に記入せよ
東京、京都、大阪、廣島、横濱、金澤、熊本、仙臺、徳島、新潟、名古屋、神
戸、長崎、函館、鹿兒島、舞鶴、佐世保、赤間關

犬吠岬、潮崎、觀音崎、和田岬、珠洲岬、石廊崎、襟裳岬、伊良胡崎、佐田岬、尻屋崎

富士山、阿蘇山、白山、大山、十勝岳、

天龍川、大井川、利根川、筑後川、北上川、信濃川、淀川

▲二、長崎より倫敦に至る最近航路の海洋の名及び之に接する右方諸國名を順次に記せよ

▲三、サンフランシスコ、ニューヨーク(市)北京、香港、上海及ロッキーマウンテン、ウラル山脈の所在を問ふ

▲一、地球表面の凹凸ある所以を説明せよ(以下地文)

▲二、地球上温度頒布の差異ある原因を列挙せよ

▲三、海流の起る理由を説明せよ

▲四、大陸氣候と島嶼氣候の差異及其理由を問ふ

▲五、北半球大洋中に於て颶風に遭ひ初め南風なりしに漸次西風に轉ずる傾きあるとき其颶風區域を脱せんとするには孰れの方位に退くべきや理由を附して大體の方位を示せ

○同上 (三十四年度)

一、山陽鐵道、東海道鐵道、日本鐵道の幹線を別紙圖中に畫き、且つ其線路に當る府縣廳所在地名を記入せよ

▲二、北海道の國名を同圖中に記入せよ

三、亞細亞大陸の諸國名、厦門、北京、上海、ボンベイ、コロンボ、アデン、を別紙圖中に記入せよ

四、英吉利本國、ヒリッピン、及びトランスバールの位置を記せ

五、地中海に於ける佛國の主要なる港及北米合衆國の東西兩岸に於ける主要なる港各一を擧げよ

▲一、徑度緯度とは何ぞ(以下地文)

▲二、四季の變化の理を説明せよ

▲三、黒潮の通路の概畧を記せ

▲四、朝なぎ及夕なぎの理を説明せよ

▲五、地球の中心の状態を推論せよ

○陸軍地方幼年學校

- ▲一、左の川に瀕せる都會にして其最も大なるもの、地名一個宛を記せ、
玖摩川、大淀川、岩國川(綠川)千代川、紀川、矢作川(矢矧川)御物川
- ▲二、左の縣廳の所在國名及地名を記せよ。
岩手、福島、群馬、朽木、山梨、富山、島根、香川、佐賀、宮崎、
- ▲三、雲、雨、虹の生ずる理由を概説せよ。

○同上 (三十四年度)

- ▲一、與へられたる日本地圖内に各縣郡國名を記入せよ。
- ▲二、左に記載する名稱の所在國名を記せ
琵琶湖、諏訪湖、猿間湖、霞ヶ浦、八郎潟、シンシ湖、別子銅山、霧島山、夕張岳、阿蘇山、
- ▲三、日本の三大火山脈を挙げ及び其位置を示せ

○陸軍士官學校 (三十四年度)

- ▲一、左に列記せる名稱の所在の國名を記せ
厨川、船上山、白旗山、佐須那港、伏木港、五稜廓、石橋山、箱崎、鹿見崎、鹿港、白河、古河、金ヶ崎、院ノ庄、三角港、口ノ津港、境港、七尾港、淡水港、小樽港

- 二、楊子江及其沿岸に就て知る所を記せ
- 三、北米の暗射圖に山脈半島河灣湖高原地峽都會等を記入せよ。
- ▲四、潮汐の起原を記せ

○郵便電信學校 (三十三年度)

- ▲一、大洋潮流の主なるものを挙げ併せて其原因及び影響を簡単に説け
- ▲二、日本海に面せる本道沿岸に接近せる重要な都市及び港灣を揚げよ。
- ▲三、長崎より海路シンガポール、コロンボ、スエズ、シブラルター、サウザンプトン、を経て英京倫敦に行かんとす、其途中經過すべき海洋、島嶼、岬角、海峡を問ふ、
- 四、歐洲大陸の大川若干を指名せよ。
- 五、左の國の首府を問ふ(但し答は羅馬字にて書くを要す)
1. Denmark, 2. Sweden, 3. Holland, 4. Scotland, 5. Ireland, 6. Portugal, 7. Switzerland, 8. Austria, 9. Prussia, 10. Persia, 11. Turkey, 12. Greece, 13. Brazil, 14. Canada, 15. United States of America.
- 六、左に掲ぐる海灣、山川、都市、島嶼は何處に在りや
1. Aegean Sea, 2. Caribbean Sea, 3. Gulf of Guinea, 4. Baltic Sea,

- 5. Gulf of Bothnia, 6. Bering Sea, 7. Rotterdam, 8. Tunis, 9. Oporto,
- 10. Odessa, 11. Balearic, 12. Trinidad, 13. Guadalquivir, 14. St. Lawrence,
- 15. Seine.

○東京美術學校 (三十三年度)

- ▲一、左に列記せる湖沼の所在地を問ふ
猪苗代湖、入郎潟、中禪寺湖、霞浦、芦ノ湖、諏訪湖、琵琶湖、
- ▲二、東海道中海に面せる國名を擧げよ
- ▲三、小倉の位置及市況を記せ
- ▲四、亞細亞東海岸の概況を記せ
- ▲五、世界中の古國は何國なるか、

○同上 (三十四年度)

- ▲一、本邦東西海岸の寒暖を比較せよ
- ▲二、奈良に於ける神社佛閣の著大なるものを擧げよ
- ▲三、左の市邑の所在國を問ふ、
長野、舞鶴、鳥羽、銚子、洲本、

- ▲四、亞細亞洲中太平洋に向て注ぐ四大河あり其名を記せよ
- ▲五、ニューヨーク府の位置及概況を記せ

○高等師範學校豫科入學 (三十四年度)

- ▲一、平均太陽日とは何ぞや之を説明せよ
- ▲二、火山は地球上如何なる所に分布せらるゝや之を説明せよ
- ▲三、我國の農業及農産物に就き知れる所を記せ
- ▲四、太平洋諸島中重なるものゝ所屬國を問ふ、
- ▲五、舊世界と新世界との地形を比較せよ

○同校官費專修科 (三十四年度)

- ▲一、我東京の正午は英吉利グリニチの何時に當るや
- ▲二、風化作用、浸蝕作用とは何ぞや之れ説明せよ
- ▲三、我國諸山脈の系統を記せ
- ▲四、亞細亞に於ける歐羅巴各國の勢力を示せ
- ▲五、南亞米利加洲の地勢を現はすべき畧圖を作れ

撰新
日本地理問答終

明治三十五年一月二十日印刷

明治三十五年一月廿三日發行

《日本地理問答》

定價金貳拾

編者 上村貞子

發行者 大橋新太郎

東京市日本橋區本町三丁目八番地

印刷者 水谷景長

東京市本郷區丸山福山町六番地

印刷所 會社博進社工場

東京市小石川區久堅町百八番地



發兌元

東京市日本橋區
本町三丁目

博文館

著 君 保 江 濫
通 俗 世 界 地 理

全一冊 洋裝 菊版
本書は斯學に就き該博の智識を有する濫江氏が歐米諸國に於ける最近の名著を渉獵して兼て著者の創見を加味し、最新の事實統計を基礎とし、新の組織を以て著述せられたるものにして其の材料の豊富なる其の筆路の暢なる眞易からざるの良書なり。世の中等學生諸君は参考書として又獨習用として座右に欠くべからざる珍書たるは本館の信じて疑はざる所なり。
正價金三十錢 郵稅八錢

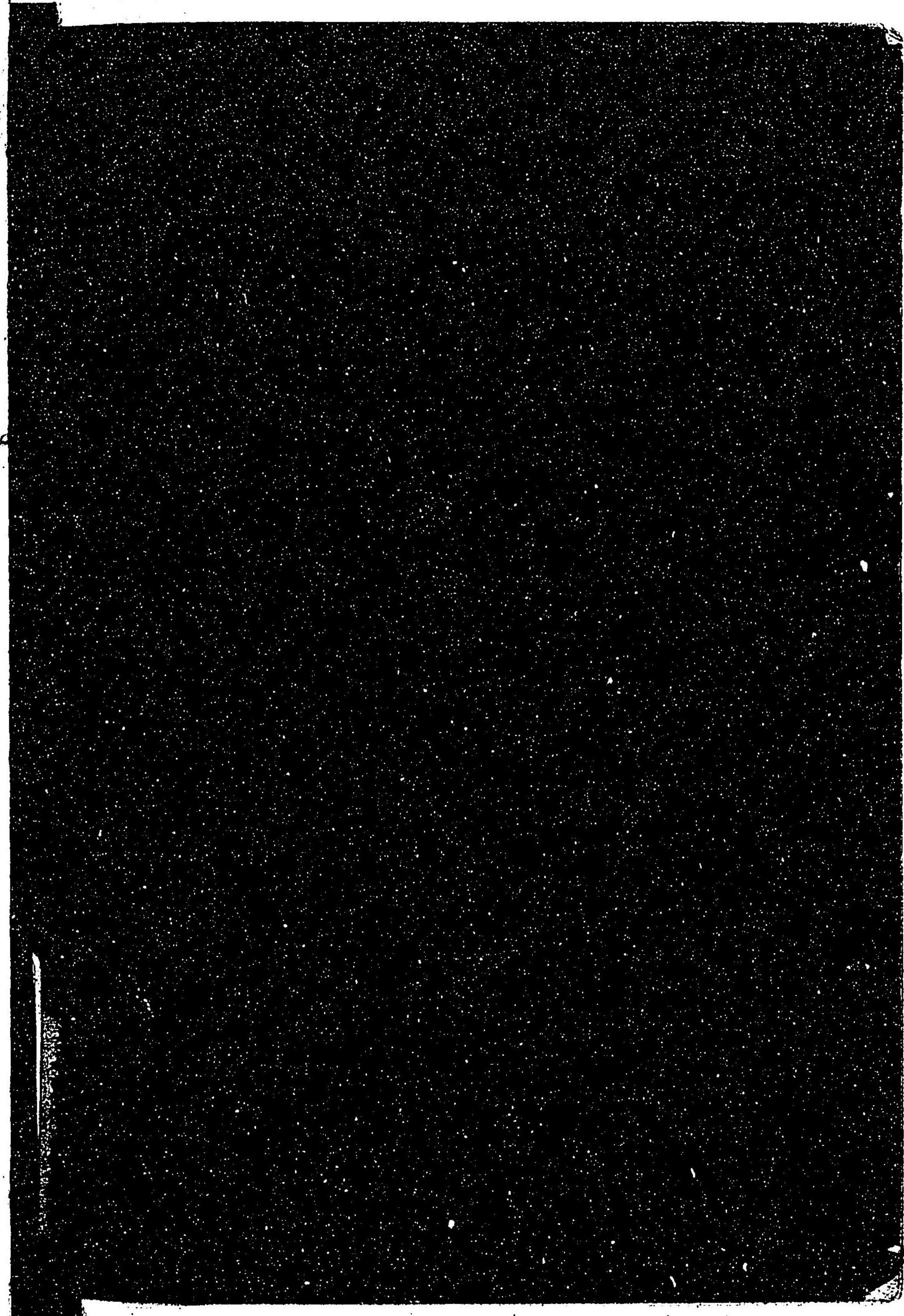
- 日本新地圖 全一冊 正價十二錢 郵稅四錢
- 新支那地圖 全一冊 特價五錢 郵稅二錢
- 支那市街圖 全一冊 特價五錢 郵稅二錢
- 北京市街圖 全一冊 特價五錢 郵稅二錢
- 新朝鮮地圖 全一冊 特價五錢 郵稅二錢

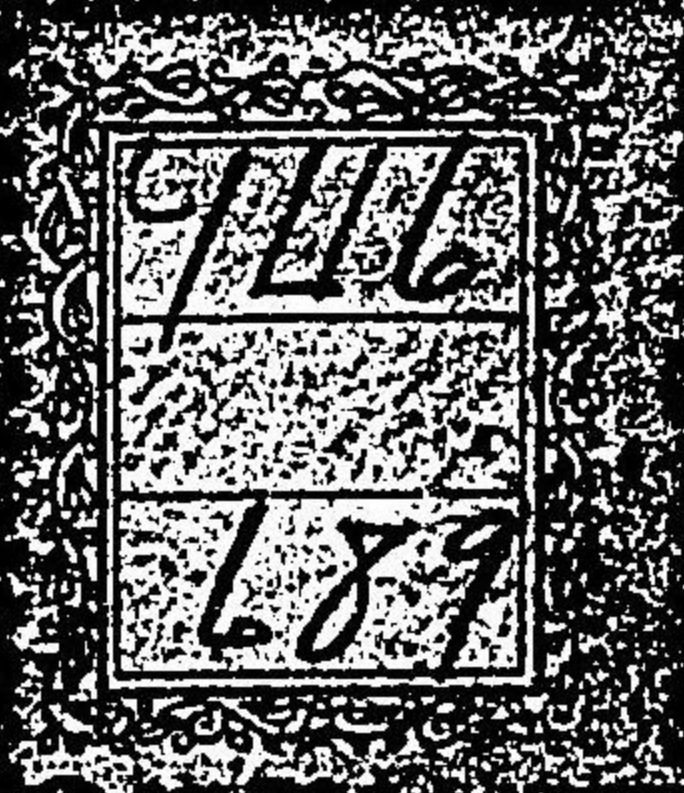
理學士佐藤傳藏君著 (第三版)
萬國新地理 全一冊 洋裝 菊版

正價 上製五十錢 郵稅十錢
並製三十錢 郵稅八錢
嗚呼萬國新地理生れたり何が故に生れたるか一般人類に向つて新地理學の要領を語らんが爲めなり。最新の統計、最新の事實、最新の仕組、中等教育に向つて、地理專門家に向つて、普通の學生に向つて、大に告ぐる所あらんが爲めなり。亞細亞、支那、朝鮮及南洋は本書の骨髄也特色也。來て此寧馨兒を見よ。日本新地理の良兄弟好姉妹なる此萬國新地理を見よ。
鳴呼萬國新地理生れたり何が故に生れたるか一般人類に向つて新地理學の要領を語らんが爲めなり。最新の統計、最新の事實、最新の仕組、中等教育に向つて、地理專門家に向つて、普通の學生に向つて、大に告ぐる所あらんが爲めなり。亞細亞、支那、朝鮮及南洋は本書の骨髄也特色也。來て此寧馨兒を見よ。日本新地理の良兄弟好姉妹なる此萬國新地理を見よ。

- 中等日本地圖 全一冊 正價四十五錢 郵稅八錢
- 中等萬國地圖 全一冊 正價六十錢 郵稅八錢
- 日本詳密全圖 全一冊 正價十二圓 郵稅十二錢
- 日本商業地圖 全一冊 正價十五錢 郵稅十二錢

746
689





023010-000-0

特61-212

日本地理問答 (新撰)

上村 左川/編

M35

ADB-0974

